& まつと、何でも知りたい…

国指定史跡10周年記念

神崎遺跡の魅力



神崎遺跡は、市内唯一の国指定史跡です。弥生時代 後期の南関東の社会の在り方を知る上で重要な遺跡であ ると判断され、平成23年2月7日に史跡に指定されました。 令和3年2月7日に史跡に指定されて10周年を迎えます。

問生涯学習課☎70·5637

神崎遺跡のあゆみ

同遺跡の発見は昭和62 年にさかのぼります。 綾瀬 の歴史をつづった、綾瀬市 史を編さんするための分 布調査と平成元年の発掘 調査で存在が明らかにな りました。平成23年には国 の指定史跡となり、これ



平成元年の神崎遺跡

を受けて平成26年度から整備が行われ、平成28年に資料 館が開館、平成30年に公園が全面開園しました。



神崎遺跡出土土器



出土土器から見つかった圧痕 (虫や植物が焼かれて穴として

神崎遺跡はどんな遺跡?

所在地:綾瀬市吉岡字神崎に所在しています。目久尻川 を望む見晴らしの良い、南北に細長く伸びる台地の南端 部に立地しています。

遺跡の特徴: 今から1800年ほど前につくられた弥生時代 後期のムラです。環濠と呼ばれる幅·深さ約2mの溝に囲 まれた集落内では、現在までに18軒の弥生時代の住居跡 が見つかっています。発見された土器の95%が東海地方 (特に浜名湖周辺・伊場遺跡群など)の土器と形や模様が そっくりだったこと、住居跡の形が東海地方で多く見られ る形であることなどから、200km以上離れた東海地方から 移住してきた人々がつくったムラだと考えられています。

集団で移住・移動したことがわかる遺跡は少なく、弥生 時代の人々の行動が垣間見られる貴重な遺跡です。

神崎遺跡のイベント

同遺跡を知って もらうため、専門 的な考古学の講 演会や弥生時代 を体感する体験 教室だけではなく、 月見や星見など多 様なイベントを実 施しています。



神崎遺跡の今後

同遺跡では、未調査区や、いまだに解明されていない「ナ ゾ|があります。 令和元年度から出土品の再調査を行って います。調査・研究が進むことで、今まで見えてこなかっ た同遺跡に暮らした人々の生活が判明するかもしれません。

また、同遺跡を活用した、さまざまな学び・体験ができ る講座を計画していきます。まだまだ見どころたっぷりな 同遺跡をお楽しみください。

神崎遺跡国史跡指定10周年記念講演会

同遺跡の国史跡指定10周年を記念して、遺跡を活用し たまちづくりについて検討する講演会をオンラインで開催 します。

史跡に指定された日である2月7日から、市ホームペー ジで特別公開します。

講師は、博物館施設などの整備に携わる傍ら、お菓子 や工作などさまざまな活動をとおして考古学の普及啓発 を行っている、「お菓子作り考古学者」の下島綾美さんです。

市総合計画2030を 策定しました

3年度からの、市のまちづくりの方向性を定める「綾 瀬市総合計画2030」を策定しました。15の戦略プロ ジェクトを取り組みの柱に、持続的な成長・発展を続 けるまちづくりを進めるとともに、市の魅力の向上、 地域の活性化、支え合いによる地域福祉の実現を目

同計画は、市ホームページや市内公共施設などで 閲覧できるほか、企画課で販売と概要版の配布を行っ ています。

問同課☎70.5635



市の10年後に向けて取り組む3つの基本方針「育てる」 「稼ぐ」「支える」を表しています。これらの基本方針に基 づく市のまちづくりは市民一人一人が「つながる」ことで想 いが「つたわり」、より良い未来が形作られていきます。一 筆書き風のイラストで仕上げることで、「つながる」大切さを 意識しています。



あやせ わーるど れぽーと 異文化の理解に向けて (中国の大学生活編その2)

中国では、高校と大学でキャンパスライフに大きな 差があります。高校の学生寮の門限は21時30分ですが、 授業の後、19時~21時に教室の自席で自習をする「晩自 習しという制度があるため、平日はほとんど遊ぶ時間がな く、勉強中心の日々を送ります。部活動はなく、アルバ イトも禁止、高校によっては恋愛も禁止されているため、

日本人の学生は物足り なさを感じるかもしれ ません。

一方、大学では勉学 以外の活動に力を入れ る学生も多く、さまざ



まな学生団体が毎週 体育祭の様子

のようにイベントを開催しています。学生寮の門限もな いため、高校時代に比べて自分の時間を自由に使えるよ うになります。しかし、大学の講義の中には22時近くま で行うものもあり、高い成績を修め、国内外の大学院へ 進学するために、朝から晩まで勉強している学生も多く いました。

さらに、中国人学生は留学生とは異なり、必修授業と して、軍隊訓練やマルクス主義についても学んでいました。 中国の大学は、自由な校風で、多くの人と交流できる ため、学生生活を満喫しながら中国語を学びたい学生に とっては良い環境かもしれません。留学生が集まる団体 も多くあるため、中国人学生だけではなく、さまざまな

国の留学生と交流の輪を広げることができます。

間企画課☎70.5657





15